

令和4年度



進んで学び 心やさしく たくましく

岳下っ子だより

二本松市立岳下小学校通信

令和5年3月6日

第 43 号

文責:校長 草野和代



今日、3月6日は啓蟄。地面が暖まり、冬ごもりしていた虫たちが、這い出てくる季節です。暦どおりに、今週はぼかぼか陽気が続きそうです。

心も体も一回り成長した子どもたちが、大きな一歩を踏み出す春がやってきました。卒業式ももうすぐです。

授業参観に多数おいでいただき ありがとうございました

3月1日(水)の授業参観には、多数の保護者のみなさんにご来校いただき、ありがとうございました。



コロナ禍ということで、1～5年生は2～4校時と、時間に幅をもたせて授業を公開しましたところ、来校者が分散され、ゆったりと授業を見ていただくことができました。子どもたちは、朝からそわそわ。お家の方に見ていただくのが楽しみで仕方ない様子でした。

普段の様子をそのまま見ていただくということで、国語科や算数科等のじっくりと考える学習はもちろん、理科の実験や図画工作科の制作



活動、体育科のボール投げ、生活科の自分の成長を振り返る活動など多種多様な学習活動が展開され、保護者の方が学習している子どもた

ちに声を掛け、アドバイスする姿も見られました。大変嬉しく、ほほえましく思いました。



6年生は、5校時に体育館で「感謝の会」を行いました。保護者のみなさんへの感謝の気持ちを伝えるために、趣向を凝らして計画し、役割を分担して創り上げた企画

です。スクリーンに写真を映し出して思い出をたどったり、クイズ仕立てで振り返ったりします。また、子どもたちの心のこもった歌と鍵盤ハーモニカの演奏を届け、プレゼントも手渡しました。会場の体育館は、終始温かい空気が流れ、見ている私の心にも温かいものがこみ上げてきました。



オンラインでPTA総会を開催しました

授業参観の後には、PTA総会を開催しました。一昨年度、昨年度は、新型コロナウイルスの影響で、総会を「書面開催」にせざるを得なかったのですが、今年度は、学習室から配信し、保護者のみなさんは、各教室で視聴する「リモート開催」にしました。全く初めての試みでしたので、多少のトラブルはありましたが、全ての議案が承認され、令和5年度の本部役員も決まり、ほっとしました。



令和2～4年度の3年間は、PTA活動においても「我慢」が続きました。感染拡大を防ぐために、できないことがたくさんありましたが、子どもたちを支えようとする強い思いや、「今できる最大限のこと」を確認することができました。この経験は、令和5年度の活動に必ず生きてくると信じます。来年度のPTA活動もよろしくお願いします。



総会の冒頭で、今年度会長の野地享平さんから昨年度会長の高野喜弘さんに感謝状が手渡され、その功績に感謝の意を表しました。

また、総会の終わりに、旧役員及び新役員からの挨拶がありました。



二本松の郷土料理 「ざくざく」の味を堪能しました

3年生は、総合的な学習の時間に、二本松の郷土料理や味噌・醤油の学習をしました。その際に、年度当初より、国田屋醸造の大松佳子さんとつながり、学習を深めてきました。

3月2日（木）、その総まとめとして、学校で実際にざくざくを作って味わう時間を持ちました。

ざくざく作りの講師は、もちろん大松佳子さんです。そしてさらに、3年生のお母さんやおばあちゃんたち10名も応援に駆けつけました。



お母さんやおばあちゃんたちは、野菜をさいの目に切る方法を実際に見せてくれたり、ちょっとしたコツをアドバイスしてくれたり、直接手を取って教えてくれたりするので、子どもたちは「できた」を実感でき、ますますやる気が高まります。

大松さんは、煮る順番、水の量や煮込む時間、味付けのコツなど、要所要所で作り方のポイントを説明してくれます。



「野菜は煮えたかな？」

「次は、シメジを入れるんだね。」

と、子どもたちも声を掛け合い、協力しながら調理を進めます。



めんつゆを入れ、醤油で味を調えて、どんな味になったかな。汁を容器に少し入れ、いよいよ味見です。汁をそうっとすすってみると・・・

「おいしい！」

「めっちゃ、うまい。」

「優しい味だね。」

と、満足した明るい声が聞こえてきます。どの班も、その班ならではのおいしい味付けができたようです。

「いただきます！」

できたざくざくを早速みんなでいただきました。汁は透きとおっていて甘みがあります。野菜のだしがほどよく出ていて、上品な味です。おいしくて、あっという間に平らげてしまった子どもたち。二本松の郷土料理を満喫することができました。



コロナ禍により、高学年の家庭科でさえも、調理実習ができない日が続きました。1学級を半分に分け、密を避けて少人数で行ったときもありました。その時は、3年生のざくざく作りは考えられませんでした。そんな日々を乗り越えて、この日、多くの方々の協力を得ながらざくざく作りが実現できたことを大変嬉しく思います。

来年度はさらにできることが増えそうです。

そなえる福島防災出前講座



3月2日（木）、県庁の危機管理課の横山さんにおいていただき、5年生を対象に「そなえるふくしま防災出前講座」を行いました。

講座では、「水害」をテーマに、東日本大震災や令和4年福島県沖地震の被害状況を画像で見たり、防災クイズに答えたりしました。また、VR（バーチャル・リアリティ）により、土石流に巨大な岩や建物等が流されていく様子等を目の当たりにして、災害の恐ろしさを実感しました。

災害をなくすことはできません。災害を自分事として捉え、命を守るためにできることをすることが「防災」であることを学びました。

